



学校だより 第11号
令和6年2月20日
寒河江市立高松小学校
校長 菊地友則

みんなの幸せ願う だんごさし

1月25日（木）に、1年生が「だんごさし」をしました。団子といっしょに、縁起のよい鯛、米俵、恵比寿様、大判小判などの形を模したものをミズキの枝に飾り、今年の豊作や幸せを願うという伝統行事を体験しました。

今年もミズキを工藤恒雄さん（高松）からいただき、だんごさしの先生には8名の児童のおばあさん方が集まってくださいました。子どもたちは、こねたり丸めたりした団子と紙で作った縁起物の飾りをだんご木に飾り付け、お手伝いをいただきながら、華やかなだんご木を完成することができました。用務員の鈴木さんから昇降口正面高くに飾られただんご木は、高松小学校に学習の実りと幸せを呼ぶことでしょう。



「生きる」「雨ニモマケズ」6年生最後の発表朝会

最後の発表朝会となる6年生の発表が1月31日（水）にありました。卒業に向かう6年生にふさわしい、谷川俊太郎「生きる」と宮沢賢治「雨ニモマケズ」の“さすが！”の発表でした。6年間で積み上げられた表現力、ただ声を出すのではなく、自分の考えや想像したことが表れており、全校生がお手本としたい発表でした。

発表朝会のねらいは、「たくさんの人に伝える力をつけること」「見たり聞いたりして感じたことを伝える力をつけること」です。発表する人と聞く人がどちらも鍛えられているのだという自信をもち、さらに鍛えていきたいと考えています。



毎日の見守り、ありがとうございます！



2月7日（水）に、交通指導員の影沢さんと青パトの阿部さんに感謝する会を行いました。暑い日も、雨の日も、風の日も、雪の日も、どんなときもお二人が見守ってくださっている安心感が高松の子にはあります。おかげで毎日元気に学校生活を送っています。その感謝の気持ちを表すとともに、子どもたち自身でも安全に登下校することを誓う機会となりました。

ミシンを教えていただきました

2学期に引き続き、5年生が谷沢の相原さん、工藤さんに、今度はミシンを教えていただきました。裁縫は、個別に習うことで上達のはやくなります。おかげで子どもたちは、手作りのエプロンを完成することができました。寒い中、今回は6日間も来校いただき、ありがとうございました。



活躍の記録

◇校内書き初め会

○金賞

1年	小野	希依
1年	菊池	茉穂
1年	國井	彩月
2年	板花	友愛
2年	新宮	麻友
2年	野口	実里
3年	大沼	めい
3年	川越	陽咲
4年	伊藤	陽真
4年	工藤	日和
5年	菊池	眞帆
5年	佐藤	琴音
6年	新宮	羽優真
6年	新宮	友唯真
6年	高橋	亮
6年	渡邊	凜

◇寒河江市内小中学校図画習字作品展 代表

○図画

1年	武田	桃弥	2年	渋谷	美結
3年	大沼	愛彩	4年	板花	凜美
5年	松田	健	6年	大沼	実莉

○習字

3年	川越	陽咲	4年	伊藤	陽真
5年	菊池	眞帆	6年	新宮	友唯真

◇令和5年度「川をきれいにする児童図画」

○銅賞「川景部門」 3年 伊藤 明日美

◇つるり里芋「図画コンテストの部」

○優賞 3年 長坂 優真

◇YAMAGATAドリームキッズ

○15期生 4年 工藤 日和



1月25日（木）
5年生NHK見学のーコマ。
「やままる」のセットでア
ウンサー体験をしました。